CASBEE-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 |使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要

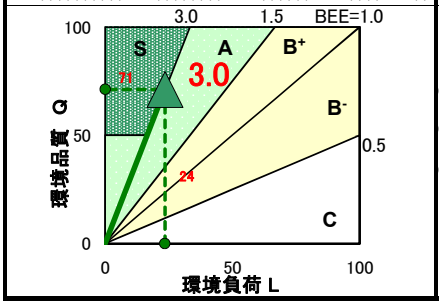
建物名称	九勧博多駅前一丁目ビル	階数	地上13F
建設地	福岡県福岡市博多区博多駅前1丁目	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	1,190 人
地域区分	7地域	年間使用時間	4,000 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,物販店,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年4月 予定	評価の実施日	2020年3月26日
敷地面積	2,415 ㎡	作成者	加茂川 豊記
建築面積	1,415 ㎡	確認日	2019年3月26日
延床面積	20,549 ㎡	確認者	大森 正俊

1-2 外観

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

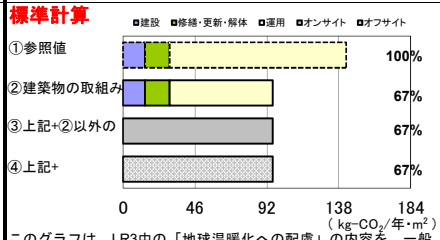
BEE =3.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



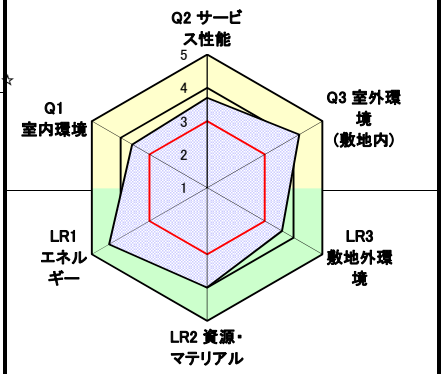
2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆



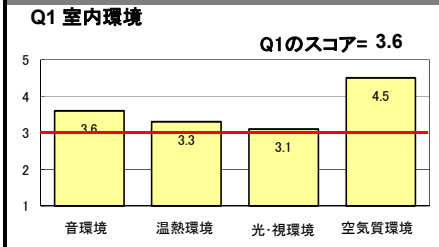
このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

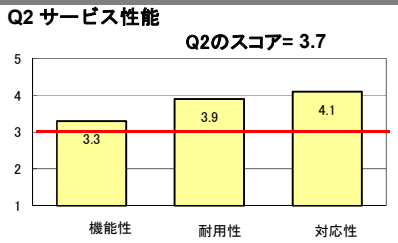
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

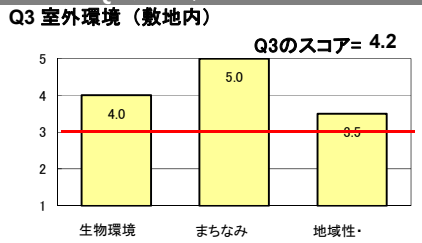


2-4 中項目の評価(バーチャート)

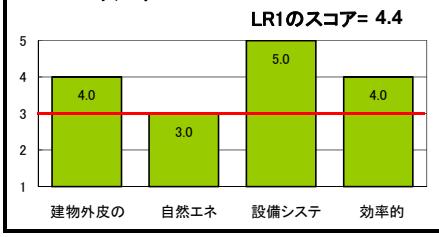
Q 環境品質 — Q のスコア= 3.8

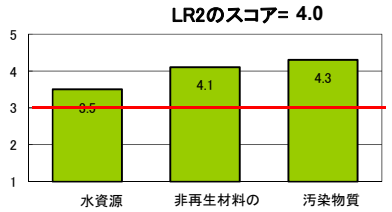


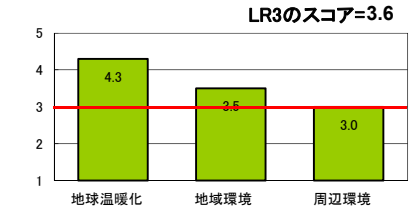




LR 環境負荷低減性 — LR のスコア= 4.0







3 設計上の配慮事項

総合		その他
博多駅前地区のテナントオフィスビルに相応しい、高品質かつスペースフレキシビリティーに優れた業務ビルとして計画 同時に、敷地内外の環境形成や、通りの賑わい創出など、地域の魅力向上にも配慮した全体計画		敷地内整備に留まらず、隣接街区や公道(歩道)の整備までを一体に行い、博多駅から博多歴史ゾーンへ導くアクセスルートとしての承天寺通りの発展を目指す先導プロジェクトとしての位置づけ
Q1 室内環境	**Q2 サービス性能**	**Q3 室外環境(敷地内)**
外壁の開口率を最大限高め十分な自然採光を確保 高性能ガラス・ゾーン別冷暖選択可能な空調方式を採用して入居者にとって快適執務環境を実現	将来的な使われ方の変更にも対応しやすいの自由度の高い内装・設備方式に加え、入居者の信頼に応える高い耐震性能と制振装置を導入し、非常時をも想定した電源・給排水方式を採用	四周の公開空地とピロティで敷地内にゆとりの空間を創出、承天寺通りにつながる歴史伝統ゾーンに配慮した景観形成。通りの街路樹と一体化した中高木により歩行者に快適な木陰を提供
LR1 エネルギー	**LR2 資源・マテリアル**	**LR3 敷地外環境**
高性能ガラスによる日射負荷抑制、照明のセンサー制御等により、オフィス内で使用するエネルギーを大幅に低減	水資源の保護の観点から、再生水を活用し、衛生器具は省水型機器を採用 躯体材料や内装材にはリサイクル材を積極的に採用	自走式駐車場や一般利用可能な駐輪場確保により、周辺交通の円滑化に配慮 公共空間に面する照明は、防犯性に配慮した照明計画

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency(建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality(建築物の環境品質)、L: Load(建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction(建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency(建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される